



小売業、飲食業の皆様

新潟市内で

先端技術を活用した「無人販売」 に挑戦しませんか？

実証事業の提案を募集

新型コロナウイルス感染症の影響で消費者の行動変容が進み、小売り、飲食など対人接触を前提とする業種・業界が特に大きな打撃を受ける中、今後も事業を継続・発展させるためには、デジタル技術を活用して従来型の店舗運営から転換していくことが求められています。

こうした背景のもと、新潟市では、ウィズ(ポスト)コロナを見据え、消費者のニーズ開拓や新たな顧客体験の創出を図るため、IoTやAIなどの先端技術を活用して非対面・非接触で一連のサービス提供を行い、収集した各種データを今後の販売などに活用する「無人販売」に関する実証事業の提案を募集し、採択した事業を支援します。

実証経費

最大

100万円

補助します

申請
受付

10.29 まで

採択
件数

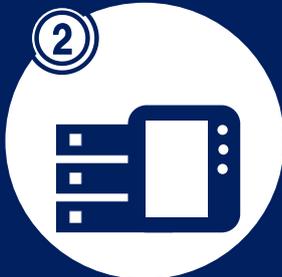
2件程度

主な補助対象経費の例



① 決済機器

購入商品を瞬時に認識し、現金だけでなく各種キャッシュレス決済が可能なIoT対応の機器のレンタル料や関連システムの利用料など。



② スマート自販機

カメラや液晶タッチパネルなどにより、データ収集やリアルタイムな情報提供などが可能なIoT対応の自販機のレンタル料や関連システムの利用料など。



③ 各種カメラ・センサー

入退店管理や不正防止、在庫管理、データ収集などのためのIoT対応のカメラ・センサーのレンタル料や関連システムの利用料など。

あくまで一例です。事例を問わず、まずはご相談ください。

詳しくは
裏面へ

■ 新潟市概念実証支援補助金

概要

DXプラットフォーム※上で活動するプロジェクトが新規事業開発に取り組むにあたり、新事業のアイデアや構想、仮説などを現実世界で具体的に検証する概念実証(PoC)に要する経費の一部を補助します。

※DXプラットフォーム

DXを通じた新事業創出の促進を目的とする会員制プラットフォーム

専用サイト <https://www.niigata-dxplatform.jp>



本補助金は、DXプラットフォーム会員向けの支援メニューであり、補助金の交付を受けるにはDXプラットフォームへの入会が前提となります。**本補助金の活用を検討する際は、事前に必ずご相談ください。**

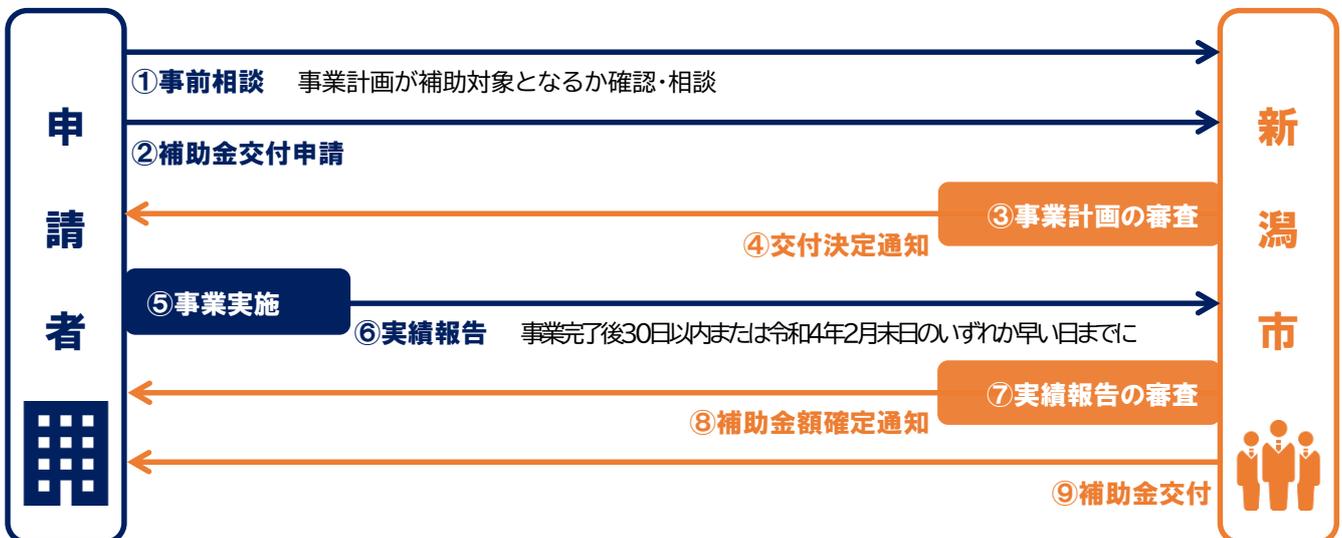
| | |
|---------|---|
| 対象経費 | 報償費、原材料費、備品費、消耗品費、通信運搬費、機械器具借上料、開発費、その他諸経費 |
| 対象事業者 | DXプラットフォームの会員であり、事業において主たる役割を担う事業者であること |
| 対象期間 | 交付決定日から令和4年2月末日まで |
| 補助額・補助率 | ●1件当たりの 上限100万円 ●対象経費の 2分の1以内 |
| 事業要件 | ●新潟市域内で行う事業であること ●地元企業や新潟市の社会課題の解決に資する事業であること ●新規事業開発の各段階において、実用化やニーズ適用などが可能かどうかを実証するための事業であること |

募集テーマ (採択予定件数 : **2件** 程度 / 申請受付期間 : **令和3年10月29日(金)** まで)

このたび本補助金のスキームを活用し、次のテーマで事業提案を募集します。

小売りや飲食などの販売形態において、カメラやセンサーといったIoT機器、AIを活用した画像認識・処理技術、モバイル決済アプリなど複数の機器・システムを組み合わせることで、入店から商品選択・購入・決済・退店に至る客の一連の行動に人手を介さず対応できるほか、収集した各種データを今後の販売などに活用できる、ウィズ(ポスト)コロナを見据えた新たな顧客体験をもたらす非対面・非接触サービスの実現を目指す実証事業

手続きの流れ



※制度や手続きの詳細は、「新潟市概念実証支援補助金交付要綱」「新潟市概念実証支援補助金公募要領」をご確認ください。
DXプラットフォーム専用サイトより、ダウンロードいただけます。

DXプラットフォーム専用サイト 該当ページ
<https://www.niigata-dxplatform.jp/event/1061>

